

フェミニストはなぜ嫌われるのか

本稿は、筆者がフェミニスト（＝フェミニズムを支持する人）に対する世間のイメージがあまり良いものではないと感じたことから、フェミニストの歴史やマイナスイメージに影響していそうな事例を分析し、その理由について調査したものである。フェミニズムの定義は様々あるが、ここではベル・フックスの「フェミニズムは性差別の抑圧をなくす闘いである。その目標は、ある人種やある階級の女性など、特定集団の女性たちだけに恩恵を授けることではない。またフェミニズムは、女性を男性よりも特権的な立場に据えるものでもない」（hooks 1984＝1997: 41）という言葉を定義としている。

分析の結果、女性の権利を求める人たちの存在は男性の権力が強い社会にとって都合が悪かったこと、週刊誌・テレビ・SNS といったメディアがフェミニストの印象を下げるような役割を担っていたことが明らかになった。いずれも批判する側、される側に限らず、フェミニズムを正しく認識している人の数が非常に少ないことが根本的な原因といえる。尊重される個人を増やすために、一人一人がフェミニズムについて知り、理解・判断に努めていくべきである。